

ふくおかの経済

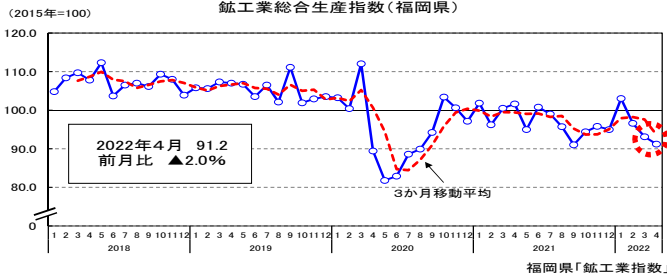
令和4年6月号



生産

持ち直しに足踏みがみられる。

4月の生産指数は、汎用・生産用機械工業などの低下により3か月連続で前月を下回りました。

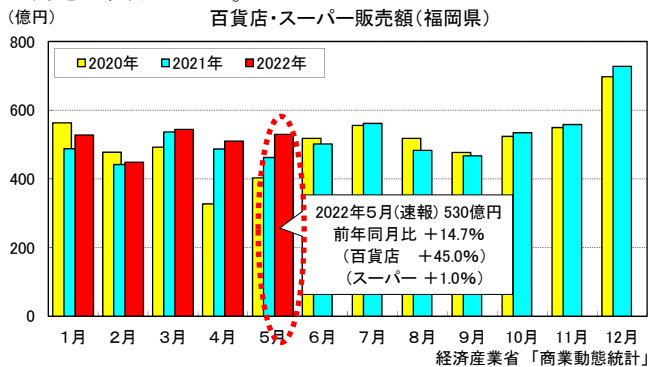


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

消費

持ち直しの動きがみられる。

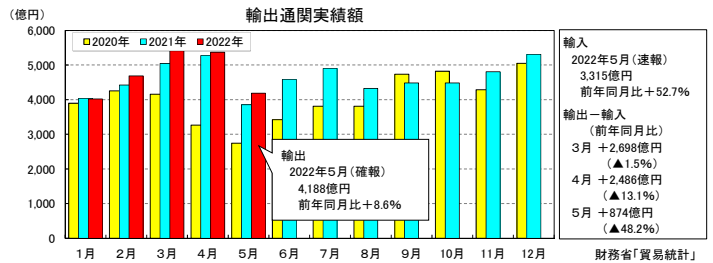
5月の百貨店・スーパー販売額は、8か月連続で前年同月を上回りました。



貿易

輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

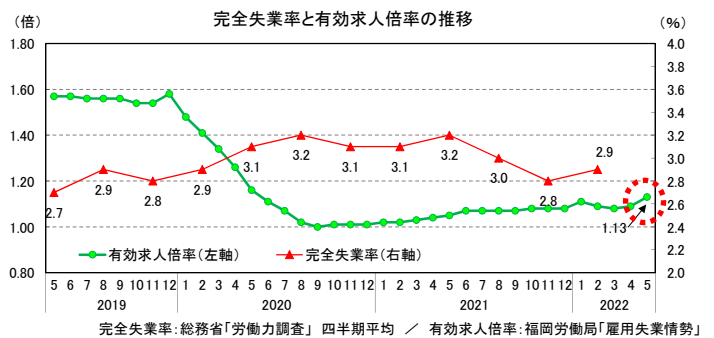
5月の輸出額は、前年同月比+8.6%、輸入額は同+52.7%といずれも前年同月を上回りました。



雇用

雇用情勢は、求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさが見られる。

5月の有効求人倍率は1.13倍で、前月から0.04ポイント上昇しました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。
1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

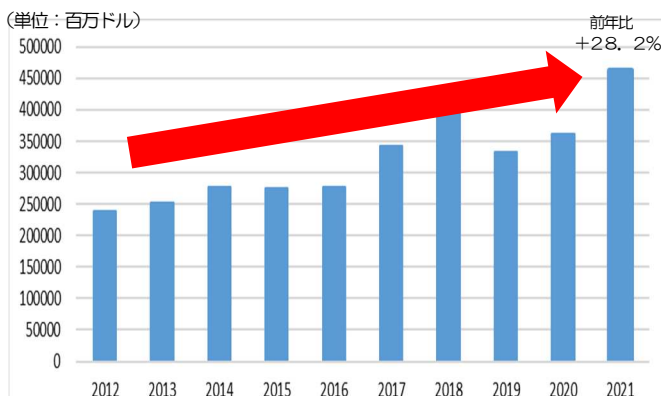
今月のトピック 九州の半導体産業について

○世界の半導体産業は成長を続けています。集積回路の生産金額は2019年に一旦落ち込みがあったものの、2021年には過去最高となる4,630億ドルとなり、今後もAI活用の広まりやIoT化の進展、EVの普及等により、拡大が続くものと予想されています(図表1)。

○一方、日本においては、全国の集積回路の生産金額は減少傾向にある中、九州は微増傾向にあり、2020年の九州の生産額の全国シェアは4割を超え存在感が増してきています(図表2)。

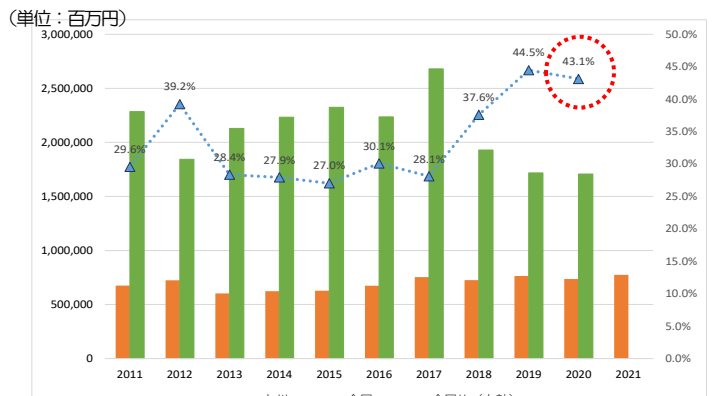
○世界の成長スピードには追いついていない九州ですが、熊本に台湾の半導体受託製造企業であるTSMCの新たな工場建設され、本県でもロームが新棟を建設するなど、再び半導体産業への投資が活発化しており、今後のさらなる半導体産業の発展に注目・期待が集まっています。

図表1 世界の集積回路の生産金額推移



出所: WSTS日本協議会「世界半導体市場統計」

図表2 集積回路の生産金額推移(全国、九州)



出所: 経済産業省「生産動態統計調査」、九州経済産業局「IC生産実績」